INFORMATION & OTHERS

楽しみ方は人それぞれ 自分だけのヒーローを探そう!

シーズン開幕の舞台を関東に譲りはしたものの、土日2日間で2大会という新たなフォーマットで全日本選手権を迎えることになった今回のHSR九州。かつては排気量別のレースを土日で4ヒート走っていたこともあるそうですが、現役ライダーにとっては全員初めての経験となります。

マシンの力を借りて疾走するとは言え、他のモータースポーツに比べて圧倒的に体力を必要とするモトクロス。2日連続でマラソン大会に出場する、そんな状況を思い浮かべてみてください。ここに集った各ライダーたちは、今回経験のない超過酷な難題に挑むことになるんです。

一発に懸けるかオーバーオールの成績を狙っていくのか、シーズンタイトルの行方を占う上でも重要な連戦。一体誰が勝ち残るのか、まずは注目してください。

そして今大会のレースフォーマットですが、基本土曜日は予選、日曜日に決勝だったのが、朝一番の練習走行がタイムアタック予選を兼ねて、IA1、IA2クラスは第1ヒートが30分+1周。第2ヒートは15分+1周という変則2ヒート制が組まれています。ちなみに出走台数の多いIB OPENとIA2クラスはタイムアタック予選の後に敗者復活のレースがあって、ここでも緊張感のあるバトルが展開されそう。いずれにしてもコース上から目の離せない二日間になりそうです。

次に各クラスのゼッケンですが、白地がIA1、黒字がIA2、青がIB…なんですが、レディースも白地だし、よく見たらIA1にもIA2にも赤いゼッケンが混じってますよね。これは前年度トップ10のライダーだけが付けることを許されるプレミアムカラー。ゼッケンの数字は去年のランキング順なので、赤は強い、数字の若いライダーは速いと覚えてください。

そしてよく見ると、黒ゼッケンIA2には01〜011を付けるライダーがいますよね。彼らは今年IAクラスに昇格したばかりのルーキーたち。開幕戦関東大会で決勝に駒を進めることが出来たのは、その内僅か5人のみ。その中でポイント獲得を果たしたのはたった1名という厳しい戦いを強いられています。

今回は果たして何名のルーキーが決勝に進出できるか。A級の速さや迫力に押されてみんなドキドキしています。スタートの前なんか正に口から心臓が出ちゃうんじゃないかってくらい緊張しているハズ。そんな時は観客の応援が何より力になります。サイティングラップやスタート前の選手紹介の時に、落ち着いて頑張れよって励ましてあげてください。

元全日本チャンピオン 富田俊樹が教える
HSR九州はココを見ろ!

みなさんこんにちは、富田俊樹です。レースに関しては去年で現役を退いて、今はヤマハの開発チームに籍を置いてテストライダーをやらせてもらってます。

さて今年は第2戦…って思っていたら、なんと2days開催となった九州大会。当然ですが、誰も経験がないですよね。自分の経験から言うと、例えば予選の10分て実はすごくキツイんです。コースによってはいいグリッドに着かないと勝負にならないから、とにかく目一杯で走るんです。1日にその予選とレース時間が異なる決勝が2ヒート。それが2日連続!! ベテランはある程度コントロールできるだろうけど、若手はその隙に行けるところまで目一杯攻めたりしたら、いつもと違う展開になる気がしています。フィジカルが強いのは内田君、逆に能塚君はタレないようにね。お客さんはその辺りの駆け引きも楽しんでください。

モトクロスを盛り上げたいというトッチ君の活動はSNSで。Instagramのアカウントは「toshiki_317」です。ご登録をお願いしま〜す!!

声援がレースを盛り上げる 声を出して応援しよう

今回観戦されるお客さんの中にも初めて観戦する方が少なからずいらっしゃるはず。全国から集まったトップライダーたちのスピードとジャンプの迫力、迫力ある排気音、随所で繰り広げられる抜きつ抜かれつのバトルをまずは楽しんでくださいね。

最初は間近で見れるド迫力を感じてもらえればいいと思うんです。様々なモータースポーツ競技の中で、横一線のスタートはモトクロスだけだと言われています。1コーナーをトップで立ち上がることをホールショットと言うんですが、それは針の穴を通すくらい狭き門だから。当然スタートでトップに立てばレースを有利に組み立てられます。それだけに1周目の混戦バトルは熾烈です。注目するライダーはアクシデントに遭わずに1周目をクリア出来るでしょうか。

次のポイントはマシンの色。赤がホンダとヨーロッパメーカのGASGAS、青がヤマハで黄色がスズキ、カワサキは緑。オレンジ色はKTM。白い車体はハスクバーナと思いきや、ヤマハの限定カラーだったりもします。

気になるライダーが見つかったらプログラムをチェ〜ック。全体を見ようとすると誰がどこでどれがなにやら分からなくなってしまうので、慣れるまでは誰か一人のライダーに的を絞って観戦すると、レースの展開が良く分かると思います。

スタートして一桁ゼッケンのライダーが後ろの方にいたら、何かアクシデントが起きたかって思えるし、そうじゃない、大きな数字やルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって思ってください。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。アドレスはこの新聞の1番下にQRコードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはずです。

せっかくの機会、チームパドックやメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。マシンの外装やライダーのウエア、パドックのテントも今シーズンのデザインになっているハズです。ビッグチームだとポスターや応援のフラッグがテイクアウト出来るようになっているハズだし、IAライダーの多くがミニゼッケンステッカーを持っているので、特に子供さんは何人分ゲットできるかパドックにライダーを尋ねて回ったら楽しそう。

コースを移動しながら最適な観戦ポイントを探すも良し。早めにテント下の観覧席に陣取るのもあり。転倒などアクシデントが多い競技なので、ライダーは安全への配慮も怠りません。興味のある方は、モトクロスウェアーの中に着けている装具なども出店ブースでぜひご覧になってください。

今シーズンも LINE でお届け MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの現地情報を中心に画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MXING」ですが、今年もLINE公式アカウントを使って配信しています。料金は基本タダ（笑）。現地情報からレース後の裏話などなど、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。みなさんぜひお気軽にご登録ください。質問やご意見も常時受け付けています。ファンのみなさんの期待に応えるサービスをお届けします。ぜひお気軽にご登録ください。

編集後記

今年も1,200km走ってやって来ました九州熊本。大津と言えば毎年R57バイパス沿いにある文化ラーメンに行くのが楽しみなんですけど、2ページ目の注目ライダーインタビューに登場してくれた中島漱也選手によると、お弁当のヒライで売ってるちくわサラダが超オススメとのこと。地元の皆さんは当然ご存知ですよね。何十年も通っててそれを知らなかったなんて迂闊。

ちなみにこのフリーペーパーですが、下地がピンクなのはここ九州大会だけで、他はブルーだって知ってましたか?? その理由は3ページ目の下を見てください。福岡ソフトバンクホークスやオートポリスで開催されるスーパーGTレースなどもこの活動に協力していますよね。観戦される皆さんも、何かピンクの小物を身に付けたり、ピンクのタオルとか振って応援してくれたら幸いです。ぜひ!!

MXING & MC Square 木田 淑

実績が証明する「かわす性能」の大切さ。
Arai HELMET Racing Specialities
V-CROSS4 WHITE
GLANCING Off IMPACT ENERGY
かわす性能
もうひとつの護る働き
https://www.arai.co.jp/

RIDING SPOT PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

racing suspension Technix
Only the Best
www.technix.jp

全日本モトクロス新聞 MXING MOTOCROSSING

制作・発行／MC Square 木田 淑
〒135-0053 東京都江東区辰巳1-3-5-1409
Tel. & Fax. 03-3522-2278
E-mail: kida@mxing.com
HP:https://www.mxing.com

出力・印刷／東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:https://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行・無料

PREVIEW-HSR KYUSYU

チャンピオン、ジェイ・ウィルソン#1に真っ向勝負を挑んで見せた#41横山遙希。手に汗握るトップ争いに沸いた開幕戦第3ヒートのスタートシーン Photo/H.Kawai

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ2024 第2-3戦 HSR九州大会は4月20〜21日に熊本県菊池郡大津町のHSR九州オフロードコースで開催される。キャンセルされた中国大会の代替えを含め2日間2大会で行われることになった今年の九州。最高峰IA1クラスはチャンピオン、ジェイ・ウィルソンに、IA2クラスには今大会からヨーロッパの強豪ブライアン・シューに日本のライダーがどこまで迫れるか注目される。激戦を制してヒーローになるのは果たしてどのライダーだ!?

白熱のバトルで盛り上がろう!

1. トップライダー&地元選手をチェック!
2. お気に入りのライダーを一人見つける!!
3. モトクロスだけの横一線スタートに全集中!!!
4. 頑張る選手を全身全力で応援しよう!!!!

ジェイの快進撃を最初に止めるライダーは誰だ!?

一昨年のIA2クラスに続き、昨シーズンは国内最高峰IA1クラスでもライバルを寄せ付けぬ圧倒的な強さを見せつけ2年連続全日本チャンピオンに輝いた**ジェイ・ウィルソン**（#1／ヤマハ）。迎えた開幕戦は`19〜20と連続でIA2クラスを制し、その後オーストラリア選手権で腕を磨いた**横山遥希**（#41／ホンダ）が第3ヒートでトップ争いを挑むも、結果はジェイの完勝。今年も連勝街道を突き進むジェイに、一体誰がストップをかけるかが最大の注目ポイントとなる。

もちろん日本のトップライダーたちは、なんとかジェイの連勝をストップさせようと必死だ。昨年のランキング日本人最上位で開幕戦でも総合2位のリザルトをマークした**大倉由揮**（#2／ホンダ）。**内田篤基**（#3／カワサキ）やホンダからヤマハに移籍した**大城魁之輔**（#4）、**大塚豪太**（#7／ホンダ）やベテラン**小方 誠**（#9／ホンダ）、ここ一番のスピードには定評のあり地元九州出身の**能塚智寛**（#7／カワサキ）も打倒ジェイを目標にこの連戦に挑む。

そんなライバルたちを再びジェイがねじ伏せるのか、あるいは日本のトップライダーたちが意地を見せるのか、まずは注目して欲しい。

昨シーズンIA2クラスでチャンピオンに輝き、今シーズンはIA1クラスで頂点を目指すスペインの若手**ビクトル・アロンソ**（#33／GASGAS）にも注目。世界のスピードに日本人ライダーがどこまで迫れるか期待が集まる。

若手による混戦必至の戦い 勝者の初名乗りは誰が!?

昨年のチャンピオン**ビクトル**がIA1クラスにステップアップしたことで王者不在となったIA2クラス。一方で昨シーズン、ビクトルに土を付けた日本人ライダーは**横澤拓夢**（#2／ホンダ）、**中島漱也**（#3／ヤマハ）、**鴨田 翔**（#4／カワサキ）、**西條悠人**（#9／カワサキ）、**池田 凌**（#5／カワサキ）、**鈴村英喜**（#8／ホンダ）の6名で、開幕戦は予想通り3人のウィナーが名乗りを上げる乱戦となり、そこから誰が抜け出すのかが今シーズンの見どころになはずだった。

しかし今大会からヨーロッパの強豪**ブライアン・シュー**（#25／GASGAS）がここに加わることに。再び海外ライダーの後塵を浴びることになるのか、あるいは誰がトップ争いのバトルに持ち込むことは出来るのか。

若手の成長株**柳瀬大河**（#6／ホンダ）や**田中淳也**（#10／ヤマハ）、昨シーズンは怪我で戦列離脱を強いられた**浅井亮太**（#7／ヤマハ）や**住友睦巳**（#01／ヤマハ）を筆頭とするルーキーたちの躍進にもぜひ要注目して欲しい。

開幕戦ノーポイントの川井 本田か更なる若手か!?

昨シーズン、**本田七海**（#2／ホンダ）らとの激しいタイトル争い制して自身3度目のチャンピオンに輝いた**川井麻央**（#1／ホンダ）。開幕戦ではその川井が予想通りの強さで圧勝するも、レース後の審査で川井のマシンに規定違反が発覚し、川井は失格となってしまう。

いきなり大きなハンデを背をった川井が気持ちを切り替えてここから巻き返すのか。繰り上げで全日本初優勝をマークした**川上真花**（#4／ヤマハ）、激しいバトルの末に開幕戦の表彰台に上がった**瀬尾 柚姫**（#5／ホンダ）、タイトル奪還を目指してヤマハからホンダにマシンを替えた本田、**箕浦未夢**（#3／ホンダ）、地元九州出身の**濵村 いぶき**（#6／ホンダ）らライバルたちが川井とどんな戦いを繰り広げるか見守りたい。

上位陣がIA昇格を果たし、新たな顔ぶれで次世代のエースの座を狙うIB OPENクラスのフレッシュなバトルにも注目。

ライダーやチームにとって土日2連戦は、過酷な戦いを強いられることになる一方でチャンスも2倍。真の強さが求められるHSR九州のダイナミックなコースを舞台にどんなバトルが展開されるか、プログラムで各クラスのライダーのゼッケンと名前を確認しながら地元ライダーには特に熱い声援を送って欲しい。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2024スケジュール

第1戦	関東大会	3月 30〜日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第2戦	HSR九州大会	4月 20日	熊本県／HSR九州
第3戦	HSR九州大会	4月 21日	熊本県／HSR九州
第4戦	SUGO大会	6月 1〜2日	宮城県／スポーツランドSUGO
第5戦	北海道大会	6月 22〜23日	北海道／新千歳モーターランド
第6戦	近畿大会	9月 14〜15日	奈良県／名阪スポーツランド
第7戦	関東大会	9月 28〜29日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第8戦	MFJ-GP	10月 19〜20日	宮城県／スポーツランドSUGO

D.I.D® 全日本モトクロス選手権 第2-3戦 HSR九州大会 開催おめでとうございます。

SUZUKI

YAMAHA
Revs Your Heart

左のQRコードは、ライブタイミングリザルトとライブ動画配信へのリンクです。また右のQRコードにアクセスすると、タイムスケジュール、予選結果（決勝スターティンググリッド）、リアルタイムリザルト（決勝結果）の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。